

教育領域の SST～SSE (Social Skills Education) の実践～ 横浜国立大学教育学部附属特別支援学校 依田麻美

私は特別支援学校(養護学校)高等部の知的障害や発達障害の生徒を対象に行なってきた SSE (Social Skills Education) の実践を紹介します。SSE とは、「集団の中で生きる力を育成し、QOL (Quality Of Life) の実現を図ること」「WHO の 10 のライフスキル(①意思決定②問題解決③創造的思考④批判的思考⑤効果的コミュニケーション⑥対人スキル⑦自己意識⑧共感性⑨感情対処⑩ストレス対処)の獲得」を目的としています。

私は平成 30 年度まで、神奈川県立で初めて高等部のみ設置された特別支援学校に 6 年間勤務をしました。生徒は、高等部 3 年間で「卒業後の生活」を具体的にイメージするために「キャリア教育」や「自立と社会参加」という言葉を学校目標に掲げています。生徒たちは、様々な家庭環境、生育歴、中学校までの学校生活を経て入学してきます。「自分に自信がなく、自分が嫌い」「周りはみんな敵」「大人を信用していない」等、自己肯定感が低く、自分はもちろん人を大切にできない生徒と出会ってきました。SSE を始める前の生徒は「頭髪や服装の乱れ」「授業妨害・逸脱」「対生徒暴力やいじめ」「教員への批判・暴言」「異性間トラブル」等の問題行動があり、大人しい生徒にとっては「過度のストレス」の日々でした。この状況から生徒や教員を救ったのが、校則と生徒指導(障害の有無に関わらず「いけないものはいけない」という指導)、そして SSE でした。SSE を教育課程(「領域・教科を合わせた指導」として「自立活動」と「国語」を合わせた学校設定科目)に位置づけ、授業実践を重ねてきました。本日は、授業実践、SSE の効果と課題はもちろん、SSE を学び就労した卒業生の現在、SSE を取り入れたことによる教員の変化について紹介します。

令和元年度より、横浜国立大学教育学部附属特別支援学校の高等部の担任をしています。教育課程としては、位置づけられていませんが、教科や日常生活の指導の中で SSE を活用しており、有効だと実感しております。

私は、生徒たちが高等部卒業後も、自分自身や周りの人を大切に社会で生きていけるよう、様々な領域の SST との継続した繋がり(支援)を大切にしていきたいと思えます。